

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第33回幹事会議事要旨

- 1 日 時：令和7年10月14日（火）14時00分～15時00分
- 2 場 所：オンライン（Zoom）
- 3 出席者：寶（会長）、甘利（副会長）、遠藤（副会長）、岡島
陪席者：松本（防災科学技術研究所）、小松原（セコム）、
増田（筑波大学）、栗原（〃）、酒井（〃）、根本（〃）

（敬称略）

4 議事

I. レジリエンス研究教育推進コンソーシアムに係る事案

【審議事項】

- (1) 2025年度R2EC単独開催シンポジウム〔12月1日開催〕について

岡島委員から、資料1に基づき開催案の説明があり、承認された。また、次の点について確認された。

- ・ポスター案のセコム小松原氏の所属表記に「コンソーシアム運営委員」を加筆する
- ・会長・副会長の代理として、岡島委員よりコンソーシアム運営委員へ参加を依頼する

- (2) 2025年度R2EC・巨大災害研究会合同シンポジウム〔3月3日開催〕について

岡島委員から、資料2に基づき開催案の説明があり、承認された。また、セコム科学技術振興財団の学術集会助成に申請し採択となった旨の報告があった。

- (3) 共催行事について（関東学院大学 人間共生学部 10周年記念シンポジウム）

岡島委員から、資料3に基づき説明があり、コンソーシアムとして共催することが承認された。

- (4) コンソーシアム会員制度の見直しについて

岡島委員から、資料4に基づき説明があり、原案のとおり承認された。また、遠藤副会長から、有識者会員の設定について検討依頼があり、引き続き検討することになった。

- (5) その他

➤ コンソーシアム入会検討機関について

岡島委員から、株式会社日本総合研究所より入会の問合せがあった旨の説明があり、今後入会に向けた調整を進めることが承認された。

➤ その他

遠藤副会長から、2026年秋のTsukuba Global Science Week (TGSW)にコンソーシアムとして参加する案が示され、検討を開始することになった。

【報告事項】

(1) JARI 職員向けコンソーシアム・学位プログラム説明会開催報告

岡島委員より、資料 5 に基づき報告があった。併せて、他の参画機関へも順次訪問を予定している旨の説明があり、防災科学技術研究所への訪問についても依頼があり、調整を進めることとなった。

(2) その他

特になし。

II. 筑波大学リスク・レジリエンス工学学位プログラムに係る事案

【審議事項】

(1) 協働大学院教員候補者の推薦について

岡島委員から、資料 6 に基づき説明があり、原案のとおり候補者を大学に推薦することが承認された。また、リスク・レジリエンス基盤分野でも 1 名増員を検討中である旨の情報共有があった。

(2) その他

特になし。

【報告事項】

(1) 参画機関インターンシップ参加報告

岡島委員から、資料 7 に基づき次の報告があった。

- ・日本自動車研究所 (JARI) : M1 学生 1 名が参加
- ・電子航法研究所 (ENRI) : M1 学生 1 名が参加

(2) 令和 7 年度実施入試（8 月期）の結果について

岡島委員から、8 月期入試（令和 8 年 4 月入学）の結果報告があった。

- ・博士後期課程：協働大学院関連 2 名（両名ともコンソ参画機関所属、うち 1 名は協働大学院教員の主指導教員を希望）
- ・博士前期課程：協働大学院関連 1 名（外部民間企業所属、協働大学院教員の主指導を希望）

(3) その他

特になし。

以上